

わたしはそのひとをつねにせんせいとよんでいた。だからここでもただせんせいとかくだけでほんみようはうちあけない。

これはせけんをはばかりえんりよというよりも、そのほうがわたしにとってしぜんだからである。

なつめそうせき「ころろ」より